

気象庁 緊急地震速報

簡単設定マニュアル



DM-ER3021J 放送設備連動版

ホームページには、「緊急地震速報」及び「デジタルもぐら」に関する最新情報が掲載されています。

緊急地震速報のリーディングカンパニー



株式会社 **J** コーポレーション
総合窓口 0742-53-7833



本社 三重県津市住吉町 11-13 TEL059-223-7774

目次

受信する放送局を決める	2
ディップスイッチの設定	3
電源、アンテナ、スピーカーを接続する	4
警報を受信する放送局を設定する	4～6
点検	7
故障かなと思ったら	8

受信する放送局を決める

デジタルもぐらは、FM ラジオ放送の緊急地震速報報知音、緊急警報放送開始音を検知して通報動作する装置です。FMラジオ局により放送形式、放送震度基準、放送内容等がことなりますので、十分ご検討頂き受信するラジオ局をご選択ください。

NHK ラジオ局 （緊急地震速報、緊急警報放送は全国の放送局で対応）

- 特徴** 日本全国の放送局で 緊急地震速報、緊急警報放送に対応しています。
日本全国のどの局でも、緊急地震速報などの放送震度基準は統一されています。（震度5弱以上）
- 考慮する点** 全国同じ情報を流す。（例 北海道で発生した地震を、東京の局でも同じ内容を流す。）
したがって、発生した地震の情報を必ず収集できるが、地域に限定した情報のみ受けたい時には民放を利用する。

民放(JFN 系ラジオ局) （緊急地震速報は全国でほぼ対応できるが、緊急警報放送の対応は各局で異なる）

- 特徴** 各ラジオ局が受信できる範囲内で発生した場合に、緊急地震速報、緊急警報放送を流す。
- 考慮する点** 緊急地震速報は地域に限定した情報を流しますが、緊急警報放送を流さないラジオ局もあります。
また、緊急地震速報における予測震度による放送基準も異なる場合があります。
（NHKは震度5弱以上の地震を放送、民放によっては震度5強以上の地震を放送します。）

コミュニティーFMなど その他ラジオ局 （各局の対応はまちまち）

- 特徴** 各ラジオ局が受信できる範囲内で発生した場合に、緊急地震速報、緊急警報放送を流す。
- 考慮する点** 緊急警報放送や緊急地震速報を流さないラジオ局もあります。
また、緊急地震速報における予測震度による放送基準も異なる場合があります。
（ラジオ局によっては放送する基準震度が異なります。）

受信設定パターンとしては

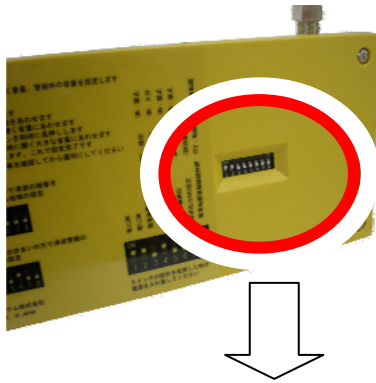
- | | |
|-------------------------------------|-------------|
| ①津波警報、東海地震警戒宣言、全国の緊急地震速報すべてを受けたい | → NHK ラジオ局 |
| ②受信地域のみ緊急地震速報を受けたい | → JFN 系ラジオ局 |
| ③津波警報、東海地震警戒宣言を受けたい | → NHK ラジオ局 |
| ④津波警報、東海地震警戒宣言を受け、受信地域のみ緊急地震速報も受けたい | |
- デジタルもぐら2台を運用し、1台はNHKで津波警報、東海地震警戒宣言を受信し、もう1台はJFN系で緊急地震速報を運用する。

弊社では、デジタルもぐらで設定するラジオ局を NHK にすることを薦めています。

- NHK 放送局のインフラの信頼性が高いこと（災害に強い）
- 緊急地震速報の警報基準、警報内容は気象庁の基準で放送していること
- 緊急警報放送も確実に放送すること
- 災害時には、災害情報を大優先で継続的に放送すること

デジタルもぐらで受ける警報の種類を決める

① 本体電源を入れる前に操作します。



ディップスイッチの切り替で、どの情報を受けるかを変更できます。
ご希望される受信内容で変更してください。

* 特にご指定がない場合は、出荷時の設定でのご利用をお勧めします。



② 受ける警報種類によってディップスイッチを変更してください。

出荷時の設定

種類	受信
緊急地震速報	→ ○
津波警報	→ ○
東海地震警戒宣言	→ ○

種類	受信
緊急地震速報	→ ○
津波警報	→ ×
東海地震警戒宣言	→ ○

種類	受信
緊急地震速報	→ ○
津波警報	→ ×
東海地震警戒宣言	→ ×

種類	受信
緊急地震速報	→ ×
津波警報	→ ○
東海地震警戒宣言	→ ○

種類	受信
緊急地震速報	→ ×
津波警報	→ ×
東海地震警戒宣言	→ ○

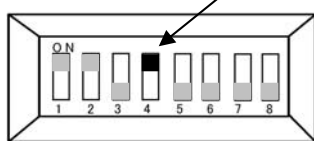
-----注意-----
わかりやすく表現するために緊急警報放送第1種を東海地震警戒宣言と表記しています。
緊急警報放送第1種の放送内容は
①大規模地震の警戒警報
②災害対策基本法に基づき地方公共団体の長が発する災害に関する警報

○ → データを受ける設定になります。 × → データは受けられません。

③ 緊急地震速報を受けてデジタルもぐらが起動して自動停止するまでの時間を変更する場合

* 津波警報、東海地震警戒宣言のときは、放送局の信号で解除(停止)されます。

出荷時の設定



約3分間の設定



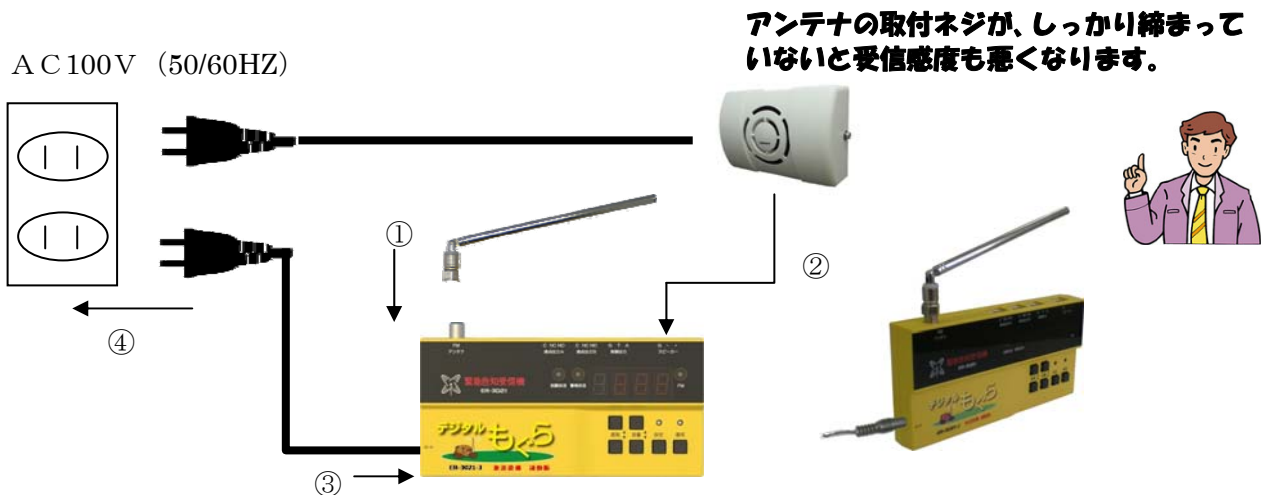
約1分間の設定

時間を変えない場合は
出荷時の状態でご利用ください

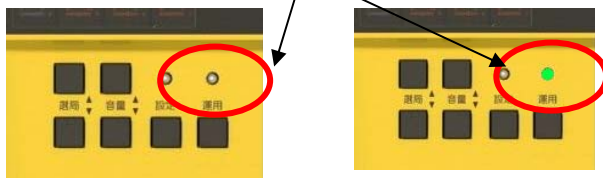
電源、アンテナ、スピーカーを接続する

- ① 付属のアンテナをデジタルもぐら本体に接続する。アンテナが不安定にならない程度にネジを締めてください
- ② スピーカーを接続する(もぐら端子 +G を スピーカーの入力端子 HC に接続) + を H、G を C に接続
- ③ 電源コネクタをデジタルもぐら本体に接続する
- ④ 電源プラグをコンセントに接続して電源を入れます

本体の内蔵スピーカーは、モニタリング(音声出力確認)用となっていますので、外付け用のスピーカーに接続してのご使用となります。



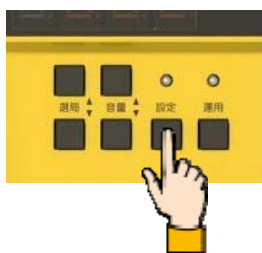
- ⑤ 10 秒程待ち、運用LEDが 3.5 秒間隔で点滅します



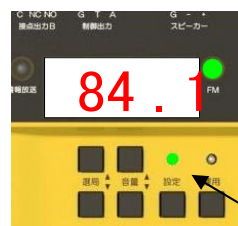
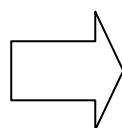
点滅しない場合は、一度電源プラグをコンセントから外し もう一度電源プラグをコンセントに接続してください。

警報を受信する放送局を設定する

- ① 設定ボタンを押す



設定ボタンを長押しする。(3 秒程度)

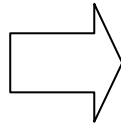


LED ランプが点灯する。(2 箇所)
現在の設定周波数が表示されます。

②選局ボタンで受信する放送局の周波数に変更する



選局ボタン「▲」「▼」で周波数を設定する



設定した周波数が表示される

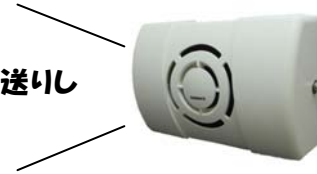
③音量を調整（設定ボタンを押して手動で起動した場合の音量です。）

* 大きめ音での設定をお勧めします



音量ボタン「▲」「▼」で音の大きさを設定する

FM○○放送でお送りしています。...



スピーカーからの音で確認する。



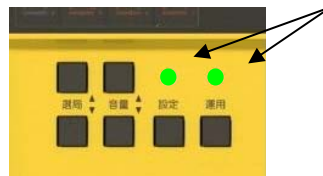
**アンテナの方向で受信感度は変化します
音の確認、周波数の調整は、設置場所にて、最も受信状態の
良い方向にアンテナを調整してください。**

④内部メモリーに登録を開始

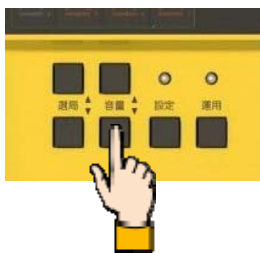


設定ボタン、運用ボタンを同時に長押し（5秒程度）

* 設定 LED ランプ、運用 LED ランプが同時に点等します

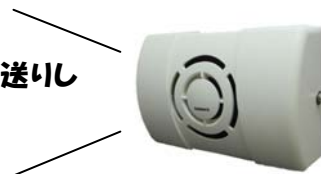


⑤警報時の音量を設定します。（大きめ音での設定をお勧めします）



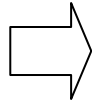
音量ボタン「▲」「▼」で音の大きさを設定する

FM○○放送でお送りしています。...



スピーカーからの音で確認する。

⑥内部メモリーの登録終了



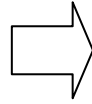
周波数の表示が消え、LED ランプが点滅する。

運用ボタンを長押しする。(3 秒程度)



LED ランプが点滅しない場合は、一度電源プラグをコンセントから外し もう一度電源プラグをコンセントに接続し P4ページ ①設定ボタンを押すから、再度設定してください。

⑦警報を受ける放送局の周波数が正しく設定されているか確認する



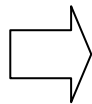
設定ボタンを長押しする。(3 秒程度)

設定した周波数が表示され、音が聞こえるか確認



表示された周波数が設定した周波数と違う場合、音が聞こえない場合は、一度電源プラグをコンセントから外し もう一度電源プラグをコンセントに接続し P4ページ ①設定ボタンを押すから、再度設定してください。

⑧警報を受けられるように待機させる。



運用ボタンを長押しする。(3 秒程度)

周波数の表示が消え、LED ランプが点滅する。



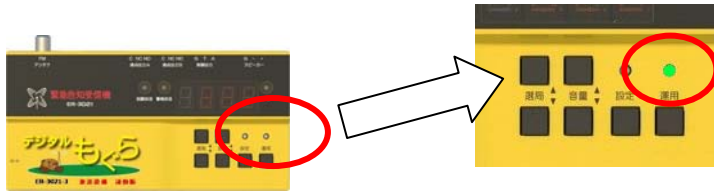
以上で設定は完了です。

警報を受信できる状態になりました。

点検

日常点検

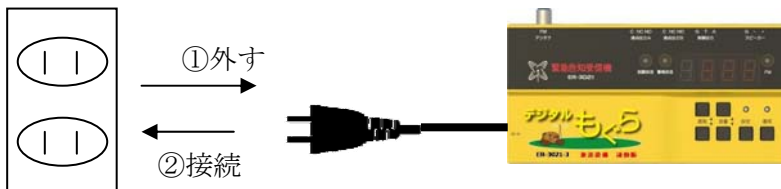
運用 LED が 3.5 秒間隔で点滅しているかを確認してください。(緑色)



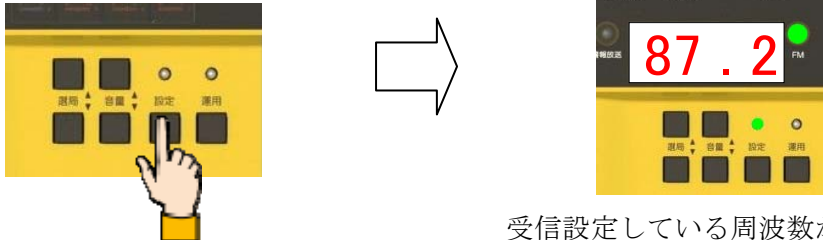
LED 点滅していない場合は、一度電源プラグをコンセントから外し もう一度電源プラグをコンセントに接続してください。

定期的な点検 (月 1 回程度)

①一度電源プラグをコンセントから外す。⇒ 10 秒程度待つ ⇒ もう一度電源プラグをコンセントに接続する。



②手動にて起動させる



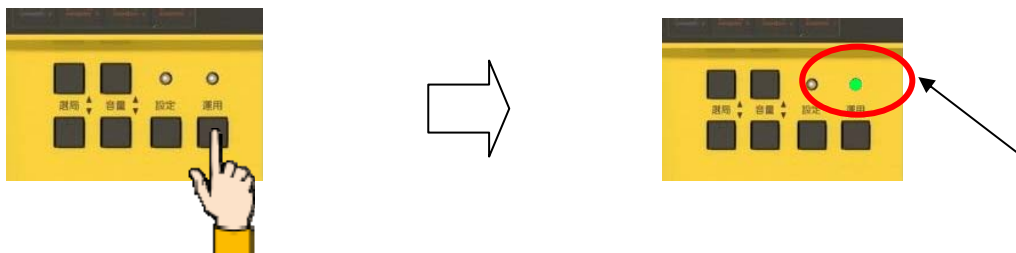
設定ボタンを長押しする。(3 秒程度)

受信設定している周波数が表示され、
スピーカーから音が聞こえるか確認



もし、表示された周波数が設定した周波数と違う場合、音が聞こえない場合は、P4ページ「警報を受信する放送局を設定する」①設定ボタンを押す から もう一度、設定し直してください。

③警報を受けられるように待機させる。(点検終了)



運用ボタンを長押しする。(3 秒程度)

周波数の表示が消え、LED ランプが点滅する。

故障かなと思ったら

修理を依頼される前に下記の点をご確認ください。

状態	考えられる原因	処置
電源が入らない	ACアダプタが外れている	本体、コンセントの接続部分をしっかりと差込んでください
	停電している	他の機器が動作しているか確認してください
音が出ない (内蔵スピーカー)	本体ボリュームが最小になっている	聞こえるまでボリュームを大きくしてください
音が出ない (外付けスピーカー)	スピーカーが外れている	接続部をしっかりと差込んでください
	スピーカーの電源が切れている	電源を確認してください
	スピーカーボリュームが最小になっている	聞こえるまでボリュームを大きくしてください
受信できない	アンテナの方向が悪い	アンテナ方向を変えて調整してください
	選局されていない	再度選局してみてください
	ノイズが大きい	外部アンテナをご利用ください
地震(津波)が発生したのに 通報動作しない	待機状態になっていない	待機状態に設定してください
	選局されていない	再度選局してみてください
	電波の受信状況が悪い	アンテナ方向を変えて調整してください
	気象庁からの発表がなかった	異常ではありません (警報は流れません)
	ラジオ局からの発表がなかった	異常ではありません (警報は流れません)
	スピーカーが外れている	接続部をしっかりと差込んでください
	ボリュームが最小になっている	聞こえるまでボリュームを大きくしてください
	停電している	他の機器が動作しているか確認してください
地震(津波)が発生していないのに 通報動作をする	試験放送を受信した	異常ではありません
	類似音声を検知した	異常ではありません

本書について

NO.	発行年月日	版数	記載変更内容
1	2010年3月3日	初版	初版発行
2	2011年6月1日	第2版	スピーカー内蔵版
3	2012年4月1日	第3版	型番の変更
4	2014年4月1日	第4版	社名欄修正
5	2014年6月8日	第5版	デザインの変更

緊急地震速報のリーディングカンパニー



株式会社 **J** コーポレーション
総合窓口 0742-53-7833



本社 三重県津市住吉町 11-13 TEL059-223-7774

製造元 日本カスタム 株式会社 <http://www.kyastem.co.jp/>